

令和7年度 第3回

徳島県読書バリアフリー推進協議会

別冊資料

【議事関係資料】

資料①	「徳島県読書バリアフリー推進計画(二期)」素案に係るパブリックコメントの実施結果(概要)について	・・・1
資料②	パブリックコメント募集要項	・・・2
	※別添資料	
	・パブリックコメントの実施結果(全体)について	
	・「徳島県読書バリアフリー推進計画(二期)」案	
	・「徳島県読書バリアフリー推進計画(二期)」概要(案)	
資料③	県の「読書バリアフリー推進事業について」	・・・4
資料④	令和7年度の事業計画及び進捗状況	・・・6
資料⑤	今後の取組方針について	・・・7

令和8年1月19日
徳島県教育委員会生涯学習課

資料③ 県の「読書バリアフリー推進事業」について

1 目的

「徳島県読書バリアフリー推進計画」における3つの基本的な施策の方向に基づき、視覚障がい、発達障がい、知的障がい、上肢障がい等により、活字による読書や図書館利用が困難な方々の読書環境を整備・充実させることによって、障がいの有無に関わらず、全ての県民が等しく文字・活字文化の恵沢を享受できる社会の実現に向け、関係機関と連携して事業に取り組む。

2 事業委託先

社会福祉法人 徳島県社会福祉事業団 視聴覚障がい者支援センター

※厚労省補助事業活用

「地域生活支援促進事業（地域における読書バリアフリー体制強化事業）」

3 事業内容

(1) アクセシブルな書籍等の充実及び製作人材の育成・確保 つくる・そろえる

高等学校での音訳図書製作体験

高校生のための点訳・音訳講習会

音訳図書等の製作を担うボランティアの高齢化及び新規人材の育成が課題となっていることから、高等学校放送部等において、作成したデイジー図書を視覚障がい者等に利用していただくことを目途に、音訳図書の製作体験を実施し、若年者の製作人材育成を図る。

(2) アクセシブルな書籍等の入手及び利用のための支援 つかう

公立図書館等における読書支援機器・バリアフリー図書の利用促進

視覚障がい者等の活字による読書が困難な方々が、読書支援機器や様々なバリアフリー図書を利用して読書に親しむことができるよう、公立図書館等に「デイジー図書再生機器」及び「バリアフリー図書セット」の貸出体制を整備し、広く県民の皆様に体験していただくことで、様々な障がいの方に利用いただけるよう取組を進める。

(3) 読書を支援する環境の充実と人材の養成 ささえる・ひろげる

公立図書館等職員研修

視覚障がい者等が身近な地域の図書館を利用しやすい環境づくりを図るため、公立図書館等職員を対象に、読書支援機器・端末機器の操作方法、障がい特性に応じた読書媒体や支援ツールの知識、サピエ図書館の利用方法等の、障がい者サービスの知識習得のための研修を行うとともに、点字図書館や公立図書館等の連携体制を構築する。

成果指標（令和7年11月末までの実績）

成果指標		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7 11月末	R 7 目標	
(1) つ く る ・ そ ろ え る	点字図書館のアクセシブルな書籍等〈タイトル数〉	所蔵数 21,834	22,017	22,158	22,367	22,654	22,849	22,834	
		年間貸出数 7,175	6,313	5,158	3,427	4,282	2,800	7,200	
	点字図書館のアクセシブルな書籍等のサピエ図書館への年間アップロード数	95	87	83	68	117	55	100	
	県立図書館のデジタル図書・マルチメディアデジタル図書〈タイトル数〉	所蔵数	464	486	522	554	598	634	565
		年間貸出数	20	83	105	121	166	172	40
	県立図書館の音声読み上げ対応電子書籍〈タイトル数〉	333	388	535	773	1,415	1,574	433	
	点訳・音訳奉仕員の年間養成者数	20	8	13	24	12	18	30	
高校生の点訳・音訳講習会及び製作体験 参加者数 <u>累計</u>	－	17	53 R4 36	80 R5 27	106 R6 26	127 R7 21	100		
(2) つ か う	サピエ会員（個人会員）登録者数	111	111	117	121	126	130	150	
	点字図書館の利用登録者数	729	725	712	717	712	707	850	
	点字図書館のアクセシブルな書籍等を利用するための端末機器の延べ貸出回数	8	11	4	6	5	9	50	
(3) さ さ え る ・ ひ ろ げ る	公立図書館等へのバリアフリー図書セットの貸出件数 <u>累計</u>	－	－	5	17 R5 12	25 R6 8	30 R7 5	50	
	図書館職員等への読書バリアフリー関連講座や研修会の受講者数 <u>累計</u>	－	59	133 R4 74	231 R5 98	356 R6 125	408 R7 52	150	
	R4 公立図書館等職員研修会 44名 図書館サポーター養成講座 30名								
	R5 公立図書館等職員研修会 64名 図書館サポーター養成講座 34名								
	R6 公立図書館等職員研修会 94名 図書館サポーター養成講座 31名								
	R7 公立図書館等職員研修会 37名 (第1回研修会のみ) 図書館サポーター養成講座 15名								

資料④ 令和7年度の事業計画及び進捗状況

1 高等学校での音訳図書製作体験

※令和7年4月18日(木)13:30～ 高校放送部顧問会議にて
「読書バリアフリー推進事業」の説明及び体験校(1校)の依頼

内 容：録音図書の製作に必要な知識と技術を学び、録音図書の製作を体験する。

実施期間：令和7年12月から令和8年2月までの間
全6回12時間

体験者：阿波高等学校放送部 4名

会場：阿波高等学校・徳島県立障がい者交流プラザ

講師：視聴覚障がい者支援センター 平田 清美氏 原田 早紀氏
音訳ボランティア、録音図書利用者

製作図書：原田剛 文・筒井則行 絵『小学生のボクは、鬼のようなお母さんにナスビを売らされました。』(出版 ワイヤーオレンジ)

	日時	内容	会場	
1	令和7年12月17日(水)	デイジー図書について	阿波高校	※
2	令和8年1月14日(水)	録音ソフトの操作方法①	阿波高校	※
3	令和8年1月18日(日)	録音ソフトの操作方法② 録音作業	交流プラザ	※
4	令和8年1月21日(水)	修正作業① 校正作業	阿波高校	
5	令和8年1月24日(土)	修正作業② 編集作業	交流プラザ	
6	令和8年2月9日(月)	録音図書CD製作完了 利用者からの講評	阿波高校	

※1～3回は終了しています。

2 公立図書館等職員研修 年2回開催

第2回研修会

(1)日時 令和8年2月13日(金) 午前10時から午後3時30分まで

(2)場所 徳島県立障がい者交流プラザ3階 研修室

(3)内容

<午前> 講演 対面及びオンライン
演題 「鳥取県の読書バリアフリー推進の取組について」
講師 鳥取県立図書館情報相談課 係長 小林 みちる 氏
鳥取県ライトハウス点字図書館
情報支援員(読書支援) 山口 祐子 氏

<午後> 意見交換会(ワークショップ) 対面のみ
「徳島県の読書バリアフリーについて」
アドバイザー 鳥取県ライトハウス点字図書館
情報支援員(読書支援) 山口 祐子 氏

資料⑤ 今後の取組方針について

1 令和8年度「読書バリアフリー推進事業」

- (1) 高等学校での録音（音訳）図書製作体験（継続）
- (2) 高校生のための音訳・点訳講習会（継続）
- (3) バリアフリー図書セットの整備・貸出（継続・拡充）
- (4) 公立図書館等職員研修会（継続・拡充）
- (5) 特別支援学校の読書バリアフリー推進（継続）
- (6) 普及・啓発（継続）
 - ・バリアフリー図書セットの貸出に関する好事例を紹介
 - ・図書館等におけるバリアフリー図書展示コーナー設置、体験会等に関する好事例を紹介

2 令和8年度に向けた課題

- (1) 「サピエ図書館」や「国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービスの利用促進(会員登録数を増やす)

取組内容：①国立国会図書館HP内の「視聴覚障がい者用データ送信サービス（図書館向け案内）」や「わいわい文庫」について、公立図書館及び学校図書館に周知。

- (2) 中途視覚障がいや、視覚障がい以外の発達障がい、知的障がい、上肢障がい等の方々への周知・啓発（潜在的利用ニーズの掘り起こし）

取組内容：①市町村教育委員会及び社会福祉協議会、公立図書館・学校図書館、医療機関、大型商業施設に対して、読書バリアフリー啓発ポスターの配布と掲示を依頼。

- (3) 児童生徒及び学生のバリアフリー図書の利活用促進

取組内容：①市町村訪問や事業説明会、連絡協議会などに出向き、市町村教育委員会や学校関係者に対して、バリアフリー図書の説明を行い、バリアフリー図書セットの活用を推進。
②図書館や公共施設、商業施設などで、バリアフリー図書の体験会を実施。
③大学・専門学校・高専へのバリアフリー図書セット貸出を案内。
④公立図書館・学校図書館等へのバリアフリー図書展示コーナー設置の啓発。



徳島県立図書館
バリアフリー図書展示コーナー